

2026（令和8）年度  
 大阪大学大学院人間科学研究科博士前期課程  
 （一般入試）入学試験＜秋期＞  
 「専門科目B（教育学系）」問題・解答用紙

※以下の欄は、試験開始の合図の後に記入してください。

|                                 |  |
|---------------------------------|--|
| 研究分野<br>field of specialization |  |
| 受験番号<br>examinee number         |  |

【注意事項】

- この「問題・解答用紙」は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。  
Do NOT open the “Question and Answer Sheet” until the examiner signals the start of the exam.
- 試験開始の合図の後、受験票に記載の志望する「研究分野」及び「受験番号」を上記の欄に正確に記入してください。  
After the signal to start the exam is given, fill in your proposed “field of specialization” and “examinee number” as listed on your examination voucher in the above spaces.
- 解答は、この「問題・解答用紙」内に記載のある指示に従い、この「問題・解答用紙」の所定の解答欄に正確に記入してください。  
配付されている下書き用紙に記入しても、採点はされません。  
Follow the instructions on the “Question and Answer Sheet” and correctly fill in the answers in the designated places on the “Question and Answer Sheet.”  
Answers which are written on the distributed draft sheet will NOT be graded.
- この「問題・解答用紙」のホッチキス止めは、はずさないでください。  
Do NOT remove the staples from the “Question and Answer Sheet.”
- この「問題・解答用紙」は、持ち帰ってはいけません。  
Do NOT take the “Question and Answer Sheet” home with you.

2026（令和8）年度大阪大学大学院人間科学研究科  
博士前期課程（一般入試）入学試験＜秋期＞

|      |             |
|------|-------------|
| 試験科目 | 専門科目B（教育学系） |
|------|-------------|

|    |  |
|----|--|
| 採点 |  |
|----|--|

（7枚中の1枚目）（6枚目と7枚目は解答用紙）

すべての受験生に対する注意

Please note the following.

あなたが志望する研究分野の設問に答えなさい

Answer the questions corresponding to your proposed field of specialization.

1) 問題は2問あります。2問とも答えなさい。

There are two questions in this section. Answer both questions.

2) 問題I、問題IIの問題ごとに解答用紙は別のものを使用し、解答用紙の冒頭に解答する問題番号を記入すること。

Please answer on the designated answer sheet and mark clearly which question you are answering.

3) 指定された解答用紙に書ききれない場合は、その解答用紙の裏面を使用すること。

If you completely fill the front side of the answer sheet, you may turn over and continue on the reverse side of sheet.

4) 特に指定がない場合には、日本語で解答すること。

Please answer in Japanese, except indicated otherwise.

教育人間学

問題I 対話の意義と課題について、現在の自分の研究テーマと関連づけつつ、教育人間学的観点から論じなさい。

問題II 教育人間学・教育哲学・教育思想史に関連して、これまでに読んだ先行研究（学術論文・学術専門図書）のうち、自分の研究にとって主要なものをそれぞれ1つずつ挙げなさい。その3つの先行研究それぞれについて、書誌情報を記しつつ概要と学術的意義をまとめ、自分の研究との関連を論じなさい。

また今後、研究を進めるうえで、どのような文献を読む計画を立てているか、理由とともにできるだけ具体的に述べなさい。なお、今後、読む文献については、具体的な書誌情報が挙げられない場合は、文献の種類や属性を挙げるだけでもかまわない。

2026（令和8）年度大阪大学大学院人間科学研究科  
博士前期課程（一般入試）入学試験＜秋期＞

|      |             |
|------|-------------|
| 試験科目 | 専門科目B（教育学系） |
|------|-------------|

|    |  |
|----|--|
| 採点 |  |
|----|--|

（7枚中の2枚目）（6枚目と7枚目は解答用紙）

教育工学

問題Ⅰ 学校教育における、問題解決を通じた学習活動（Problem Based Learning 等）の持つ利点と課題点について論じなさい。

問題Ⅱ 次の問いの中から3つを選び、それぞれについて答えなさい。なお、選択した番号を明記すること。

- 1) 日本における「不登校への対策」の現状について説明しなさい。
- 2) 「学習性無力感」について説明しなさい。
- 3) 学習方略としての「自己説明」について説明しなさい。
- 4) 「準実験」の限界点について、仮想の教育工学研究の例を用いて説明しなさい。
- 5) 「単回帰分析」について、仮想の教育工学研究の例を用いて説明しなさい。

教育心理学

問題Ⅰ 以下の1) から5) のすべての用語を簡潔に説明しなさい。

- 1) 内的作業モデル
- 2) 動機づけにおける変化の段階
- 3) 質的研究法
- 4) 二次的外傷性ストレス
- 5) 非行・犯罪のリスク・アセスメント

問題Ⅱ 非行・逸脱行動のある子どもを対象とした心理教育プログラムを企画・実施する際、1) どのような内容や方法が有効だと考えられるかを述べたうえで、2) その効果を検証する方法について、具体的に述べなさい。

2026（令和8）年度大阪大学大学院人間科学研究科  
博士前期課程（一般入試）入学試験＜秋期＞

|      |             |
|------|-------------|
| 試験科目 | 専門科目B（教育学系） |
|------|-------------|

|    |  |
|----|--|
| 採点 |  |
|----|--|

（7枚中の3枚目）（6枚目と7枚目は解答用紙）

臨床心理学

問題Ⅰ 次のすべての問いに答えなさい。

- 1) 発達検査は何を測定しているか。具体的な検査名をあげて、測定している内容を説明し、発達検査の利用における問題点を述べなさい。
- 2) 症状の軽減を当初の目的としていないクライアントに対して、認知行動療法の立場からどのような支援ができるのか。具体的な事例を挙げながら述べなさい。
- 3) 心理学領域におけるセルフ・コンパッションの3つの側面について説明し、ウェルビーイングとの関係について述べなさい。

問題Ⅱ 次のすべての用語について簡潔に述べなさい。

- 1) フェルトセンス
- 2) 動作法における動作課題
- 3) D. Winnicottにおける脱錯覚
- 4) 確認的因子分析

教育社会学

問題Ⅰ 質問紙調査を用いて有益な知見を得られる可能性のある研究課題を1つ考え、①社会学理論や先行研究の議論・知見をふまえた研究の目的と意義、②調査の対象、③主な調査内容、④予想される結果、⑤結果から考えられることについて、具体的に述べよ。

問題Ⅱ 次のすべての事項について、番号を明記した上で、それぞれ簡潔に説明しなさい。

- 1) ロバート・マートン
- 2) 文化剥奪論
- 3) 重要な他者
- 4) 重回帰分析

2026（令和8）年度大阪大学大学院人間科学研究科  
博士前期課程（一般入試）入学試験＜秋期＞

|      |             |
|------|-------------|
| 試験科目 | 専門科目B（教育学系） |
|------|-------------|

|    |  |
|----|--|
| 採点 |  |
|----|--|

（7枚中の4枚目）（6枚目と7枚目は解答用紙）

生涯教育学

問題I 以下の図は、教育制度と社会保障制度における論理を概念化したものである（仁平, 2018）。

仁平は、（1）「主体化された者／未だされていない者」という区別のもと、後者から前者への変化を求めるものを〈教育〉の論理、（2）存在を、より良い存在になるという条件抜きで、ありのまま肯定するものを〈無為〉の論理として二つを対置し、人的資本形成の重視の流れの中における前者の「増殖」を指摘している。

これに関連して、あなたが重要だと思う教育的課題を一つ挙げ、（a）その概要と、（b）課題をめぐる主要な学術的議論について説明しなさい。

（問題文は、著書の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下のとおりです。）

出典：仁平典宏（2018）「〈教育〉の論理・〈無為〉の論理—生政治の変容の中で—」『中国四国教育学会教育学研究ジャーナル』第22号, pp. 43-49.

問題II 次のすべての用語について、番号を明記した上で、それぞれを説明しなさい。

- 1) 不就学
- 2) 参与観察
- 3) ヘルスプロモーション
- 4) リサーチクエスション

2026（令和8）年度大阪大学大学院人間科学研究科  
博士前期課程（一般入試）入学試験＜秋期＞

|      |             |
|------|-------------|
| 試験科目 | 専門科目B（教育学系） |
|------|-------------|

|    |  |
|----|--|
| 採点 |  |
|----|--|

（7枚中の5枚目）（6枚目と7枚目は解答用紙）

教育文化学

問題Ⅰ 教育社会学の学問的知見は、学校での教育実践にどのような影響を与えてきたか。あなたが大学院で志す研究と関連づけながら述べなさい。

問題Ⅱ 次の用語の中から4つを選び、それぞれについて簡潔に説明しなさい。なお、選択した番号を明記すること。

- 1) 感情労働 (emotional labor)
- 2) 精密コードと制限コード (elaborated code and restricted code)
- 3) ステイグマ (stigma)
- 4) 無作為抽出 (random sampling)
- 5) アファーマティブ・アクション (affirmative action)
- 6) 社会移動 (social mobility)

2026（令和8）年度大阪大学大学院人間科学研究科  
博士前期課程（一般入試）入学試験＜秋期＞

|      |             |
|------|-------------|
| 試験科目 | 専門科目B（教育学系） |
|------|-------------|

|    |  |
|----|--|
| 採点 |  |
|----|--|

（7枚中の6枚目）（6枚目と7枚目は解答用紙）

問題Iの解答用紙

前期（一般）

2026（令和8）年度大阪大学大学院人間科学研究科  
博士前期課程（一般入試）入学試験＜秋期＞

|      |             |
|------|-------------|
| 試験科目 | 専門科目B（教育学系） |
|------|-------------|

|    |  |
|----|--|
| 採点 |  |
|----|--|

（7枚中の7枚目）（6枚目と7枚目は解答用紙）

問題IIの解答用紙